



通級って何？
～通級指導教室の今とこれから～

令和4年1月29日 畿中学校 インクルーシブ研修会
大阪市立西中学校 寺本紀夫

1

まず初めに

- 先ずこの本を各校1冊購入しましょう。
「障害に応じた通級による指導の手引き 解説とQ&A（改訂第3版）」
1540円（文部科学省）
- できれば皆さんで回し読みして勉強しましょう。
- 基本的なことはこれで分かります。
- こちらも参考になります。
「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」（文科省HP）

2

大阪市の通級指導教室（中学校）

- 西中学校と東中学校の2校に設置（今年度・実質）
- 通常の学級に在籍する生徒が通う。
 - 週に1~8単位時間（月1単位時間から可）（1単位時間は40分）
 - 1~2単位時間／週が基本パターン
- 自校通級、他校通級、巡回指導
- 指導内容は自立活動と教科の補充指導（要は在籍校での学校生活支援）
- 実際には柔軟な運用

3

生徒の受け入れの流れ

- 本人保護者が利用の検討を希望する。
- 在籍校校長が設置校校長に依頼する。
- 担当者間で連絡し、教育相談を実施する。
- 本人保護者が利用を希望し、受け入れ調整をする。
- 設置校校長が受け入れを判断する。
- 在籍校校長に受け入れを伝え、在籍校から委員会に報告する。
- 通級指導担当と在籍校担任が連携して、通級指導を進める。

4

制度上の指導内容と対象生徒

- 自立活動の内容を参考とし、指導を行う。
- 個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成する。
(以上学習指導要領より)
- 対象は通常の学級での学習や生活におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒。（知的障がい生徒は対象外、不登校生徒は可）
- 大阪市立学校在籍生徒
- 指導の根拠は教員免許（小学生には小学校免許が必要）

5

指導事例（私の場合）

- 発達障がいの指導（SSTやコミュニケーションの指導）
- 吃音、構音の指導
- 学習支援（学校での学習をうまくこなすためのアドバイス）
- 不登校生徒への支援（在籍校との仲立ち支援）
- 保護者への支援（悩みや不安のフォロー）

6

通級指導教室のこれから
～大阪市を取り巻く状況～

7

きっかけはモンカショウ

- ・「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（通知）」

R4.4.27 【資料1】

- ・勝手なつことをしてやつ（大阪）がおる。怒
- ・ちゃんと教育相談しろ！（安易に学級に入れるな！）
- ・通級作ってもっとそっちに回せ！
- ・支援級なら週に半分以上は学級で授業せえ^{※1}！
- ・通常に戻す経過措置（1年待ってください）なら大目に見たる。
- ・自立活動ちゃんとせえ^{※2}。通級増やせ。

※1：法的根拠なし

※2：法的根拠あり

8

通知の背景

- ・突出している大阪の特別支援学級【資料2】文科省 特別支援教育資料（令和2年度）
- ・箸の上げ下ろしまでの「障害のある子供の教育支援の手引」 R3.6.30
- ・文科省のお手本は東京都方式【資料3】 【資料4】
 - ・「就学相談」を機能させて、就学先を調整する。
 - ・特別支援学級（知的）は一部に設置（通級指導学級も）
 - ・特別支援教室を全校に設置（拠点校から巡回指導）
 - 通常の学級に在籍し、知的障害がなく、自閉症、情緒障害、LD、ADHDがある児童・生徒
 - ・高校では通級による指導を推進する。

9

東京都方式の実態と課題

- ・数区のサンプリングからの学級設置状況（概数）

	小学校	中学校
特別支援学級（知的）	23%	28%
特別支援学級（その他）	2%	1%
通級指導学級（弱視・難聴・言語）	12%	5%
特別支援教室の拠点校	29%	16%
特別支援教室（含拠点校）	100%	100%

- ・特別支援学級の設置・受け入れの硬直感・不足感【資料5】

10

通知の影響

- ・慌てふためいた枚方市
 - ・直ちに方針転換を打ち出し、現場は大混乱w 【資料6】 【資料7】
- ・国連障害者権利委員会が通知の撤回を要請（9/9）
 - ・文科大臣「撤回には応じない」（9/13） 「権利委員会の目は節穴」
- ・大阪市の対応（推測）
 - ・通知にすり合わせつつ「ただし、例えば、（中略）この限りではないこと。」の一文を根拠に乗り切りを図っている。（と思われる。）

11

結論：これからの通級指導教室

- ・進む通級指導教室の新增設
- ・通知の「発達障害は通級による指導で」に沿う流れか？
- ・「自閉症・情緒障害学級」から通級へ（来年度は更なる圧力？）
- ・通知による「学びの場の変更」を余儀なくされる可能性
- ・通級指導教室への生徒の在籍を委員会が管理していく流れか？
- ・生徒の受け入れが、委員会への報告から承認へ
- ・委員会から生徒の受け入れ指示が来る？

12